

流域下水道事業会計

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較
収益的支出	10,548,046	10,525,655	22,391
1 款 流域下水道事業費用	10,548,046	10,525,655	22,391
営業費用 P. 379	10,218,486	10,068,788	149,698
営業外費用	329,560	347,233	△ 17,673
資本的支出	5,968,412	4,545,168	1,423,244
1 款 流域下水道事業資本的支出	5,968,412	4,545,168	1,423,244
建設改良費 P. 380	4,474,260	3,080,909	1,393,351
企業債償還金	1,494,152	1,464,259	29,893

【流域下水道事業会計】

年度	3	事業名 (事項)	営業費用	担当部課	担当	連絡先
				県土整備部 下水環境課	下水道管理係	027-226-3682
会計名	流域下水道事業会計					
予算科目	流域下水道事業費用 - 営業費用				説明書ページ	351
事業期間	S56年 ~ 年		根拠法令等	地方公営企業法、下水道法		
	事業費	国庫補助金	その他特定財源	企業債	内部留保資金等	
当初予算額	10,218,486	34,500	10,183,986			
(前年度)	10,068,788	360	10,068,428			
(前々年度)						
決算額						
(前年度)	9,755,137		9,755,137			
(前々年度)						
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連		
流域下水道施設を適正に維持管理することにより、快適で衛生的な住環境の確保及び公共用水域の水質を保全する。						
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費 (節) の内訳		
○各水質浄化センター及び中継ポンプ場の維持管理				人件費	319,840	
○下水道管渠及び人孔 (マンホール) の維持管理				委託料	2,832,002	
○太陽光発電設備の維持管理				修繕費	565,533	
処理区別管理費内訳				手数料	224,321	
・ 奥利根処理区	880,792千円	1市1町	(S56供用)	薬品費	185,566	
・ 県央処理区	5,946,870千円	6市3町1村	(S62供用)	減価償却費	5,951,086	
・ 桐生処理区	1,266,522千円	2市	(H7供用)	除却損	52,470	
・ 西邑楽処理区	943,633千円	1市3町	(H12供用)	除却工事費	64,000	
・ 西邑楽太陽光	3,052千円	最大出力: 49.5kW	(H26供用)	その他	23,668	
・ 新田処理区	554,573千円	1市(太田市管理)	(H18供用)			
・ 佐波処理区	470,651千円	2市(伊勢崎市管理)	(H20供用)			
・ 佐波太陽光	2,650千円	最大出力: 49.5kW	(H27供用)			
・ 一般管理費	149,743千円					

【流域下水道事業会計】

年度	3	事業名 (事項)	建設改良費			担当部課	県土整備部 下水環境課	
						担当者	流域下水道係	
						連絡先	027-226-3684	
会計名	流域下水道事業会計							
予算科目	流域下水道事業資本的支出 - 建設改良費					説明書ページ	353	
事業期間	S 52年 ~ 年		根拠法令等 地方公営企業法、下水道法					
	事業費		国庫補助金	その他特定財源	企業債	内部留保資金等		
当初予算額	4,474,260		2,343,500	1,027,760	1,103,000			
(前年度)	3,080,909		1,660,390	672,519	748,000			
(前々年度)								
決算額	2,704,092		1,419,669	607,423	677,000			
(前年度)								
(前々年度)								
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連			
下水道を整備・普及することにより、快適で衛生的な住環境を確保するとともに、公共用水域の水質を維持改善する。					VI 官民共創コミュニティの育成			
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費 (節) の内訳			
○社会資本総合整備 4,324,260千円					建物 96,000			
・流域下水道幹線管渠建設費 (補助率1/2) 1,907,000千円					構築物 2,029,000			
・終末処理場施設建設費 (補助率1/2及び2/3) 2,296,000千円					機械及び装置 2,225,000			
・建設事務費 121,260千円					補償費 3,000			
○単独流域下水道建設 150,000千円					建設事務費 121,260			
・流域下水道幹線管渠建設費 113,000千円								
・終末処理場施設建設費 37,000千円								
※建設事務費：工事の設計・施工管理等に係る人件費、旅費や需用費等								